

2020年10月1日
フジクラ健康保険組合

10月はピンクリボン月間です

ピンクリボン運動とは、乳がんの正しい知識を多くの方々に知っていただき、乳がんの早期発見、早期診断、早期治療の大切さを伝えていくことを目的とした世界共通の運動です。ピンクリボンはこの運動のシンボルマークです。

そして、毎年10月はピンクリボン月間です。今年はコロナウイルス拡大防止の観点からピンクリボン関連イベントも縮小傾向の様ですが、東京スカイツリーは10月1日にピンク色の照明になるそうです。乳がんについてはご存知の方も多いと思いますが、この機会に改めて認識を深めていただければと思います。

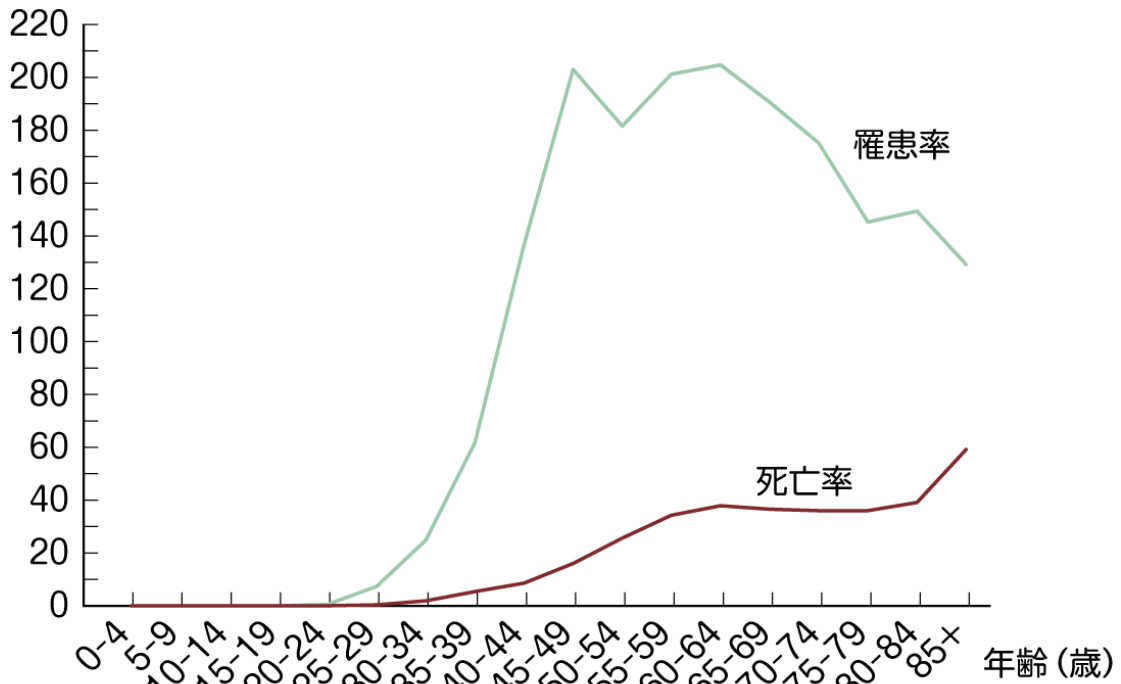
● 乳がんは女性の働き盛りを襲う疾患

乳がんは、がんのなかでも、日本女性がかかる割合がトップであり、その罹患率は増加の一途をたどっています。生涯のうちに乳がんになる女性の割合は、50年前は50人に1人でしたが、現在は12人に1人とされており、年間7万人以上が乳がんと診断されています。

年代別でみると、乳がんの罹患率は30歳代後半から増加し始め、40歳代後半から50歳代でピークになります。これは、乳がんが、女性の働き盛りを襲う疾患であることを示しています。

<日本女性における乳がんの年齢階級別罹患率・死亡率>

人口10万対(人)



出展：日本乳癌学会 患者さんのための乳癌診療ガイドラインより

● 乳がん早期発見のためのポイント

乳がんを早期に発見するためには、自己検診と年齢や症状に合った乳がん検診を組み合わせチェックしていくことが大切です。

気になる症状がある場合は、定期健診(婦人科健診・主婦健診)を待たず、すぐに病院で診察を受けるようにしましょう。

乳がん検診の詳細については、以下の日本乳癌学会ガイドラインホームページが参考になります。

<http://jbcs.gr.jp/guideline/p2019/guidline/>



出展：日本乳癌学会 患者さんのための乳癌診療ガイドラインより

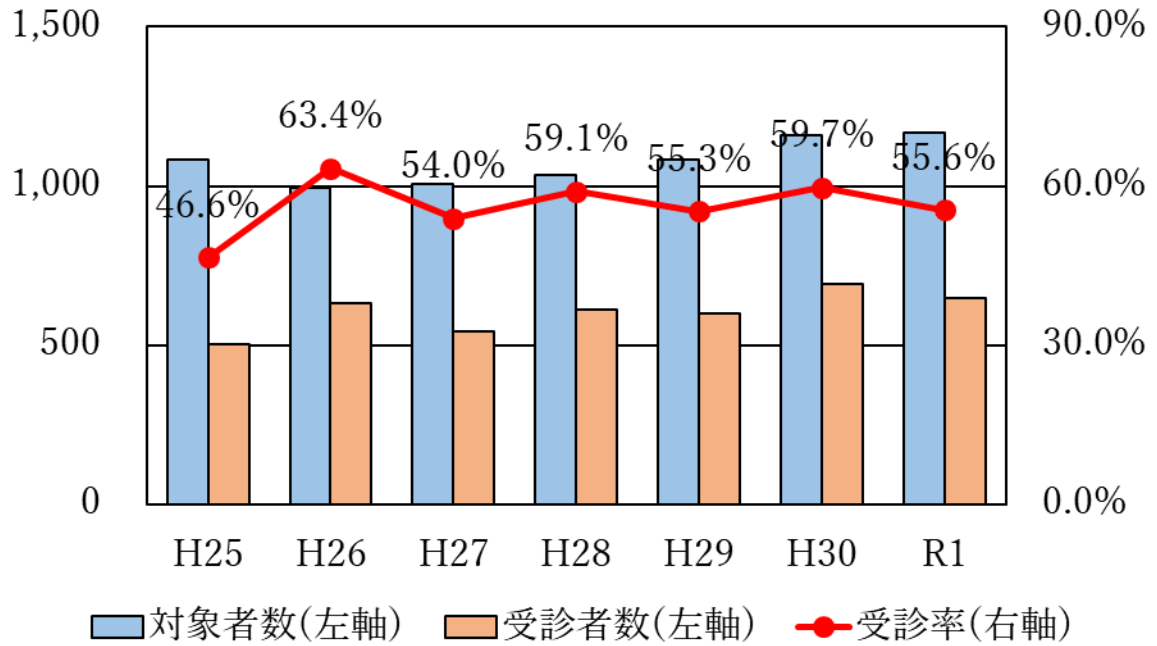
● 健保の婦人科健診・主婦健診を活用してください

フジクラ健保では女性社員(被保険者)向けの「婦人科健診」、女性配偶者(被扶養者)向けの「主婦健診」を年1回実施しています。その健診メニューには、一般的な健康診断はもちろん、がん健診のひとつとしてマンモグラフィーや超音波などの乳がん健診を受診することができます。

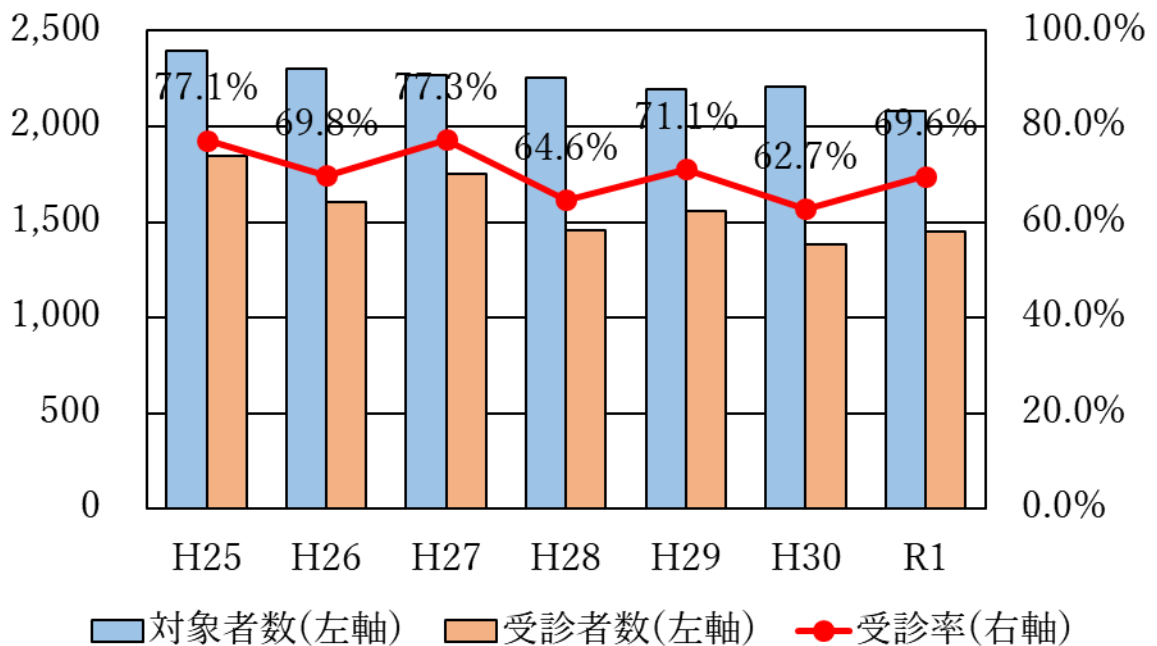
フジクラ健康保険組合が実施した過去数年の婦人科健診受診率は55%前後、同じく主婦健診は70%前後です。いずれも、健診費用は全額健保負担(主婦健診では御希望の健診機関により一部自己負担もあり)であり、年齢条件もありません。

ぜひご活用ください。

婦人科健診受診率推移(フジクラ健康保険組合)



主婦健診受診率推移(フジクラ健康保険組合)



(以上)